



仕事があっても安心 『ファミリー・サポート・センター』

支援会員
本多 一重さん

 子育ての色は淡いピンク！
お母さんのおっぱいに包まれる感じかな。

簡単に言えば、私たちは近所のおばちゃん。なんでおばちゃんから見ると、お



身近な相談役 『子育て支援スタッフ』

写真左から
奥津 康子さん、原 明子さん、
鈴木 博子さん

 子育ての色は、オレンジ！
元気いっぱい感じてしょ。

母さんにはゆつたりとした自分の時間が必要ですね。
私たちは、道端ですれ違ふ時のあいさつから始まって、年齢を問わず、どこの子にも、赤ちゃんと抱っこしているお母さん

ご近所の気軽に話せる子育ての先輩として、市内各地域に計48人の「子育て支援スタッフ」がいて、地域の親子への声かけ活動や子育て相談などを行っています。

●子育て支援課
☎33-1453

も、気軽に声をかけるんです。いつでも見守っているんですよ。だから、お母さんも気軽に気持ちで、何でも声をかけてほしいんです。
子育てでは地域ぐるみですもの。地域が大きな一つの家族のようになれば、安心して子育てできますものね。

て、お母さんだつて子育てしながら親になっていくんですね。

お 預かりするお父さんが成長する喜びを、お父さん、お母さんと共有できることが嬉しいですね。
自分の家にいるような雰囲気作りを大切にして、一緒に料理をしたり、ザリガニを取りに行ったりもするんですよ。支援会員と言っても、子どもからもらうことがたくさんある。第2の子育て真っ最中！という感じです。
子育てに不安を抱えているお母さんは多いと思うんですが、無理をしないでいいんですよ。だつ

お子さんの預かりをしてほしい人と、したい人をつなぐ事業です(会員登録が必要。預かりは有料)。預かりをする支援会員は研修を受けていますので、安心してお子さんをお預けください。

●ファミリー・サポート・センター
(社会福祉センター内)
☎35-0053

経験豊富な子育てアドバイザーによる子育ての悩み相談などを行っています。面接や電話による個別相談のほか、親子で気軽に遊びに来ることができる「子育てひろば」もあります(利用は無料)。



8月1日から、マロニエにもできました!

●いずみ子育て支援センター(城北タウンセンターいずみ)
開室日時
火~土曜日(祝、祝翌日、年末年始を除く)
9:00~17:00

●マロニエ子育て支援センター(川東タウンセンターマロニエ)
開室日時
月~金曜日(祝日、年末年始を除く)
9:00~17:00(第3月曜日は12:00まで)

※いずみ、マロニエとも「子育てひろば」は10:00~15:00

●城山子育てひろば(社会福祉センター)
開室日時
月曜日(第3月曜を除く) 13:00~15:00
火曜日 10:00~15:00

●いずみ子育て支援センター ☎37-9077
マロニエ子育て支援センター ☎48-8698



心強い味方 『子育て支援センター』

アドバイザー
府川 雅子さん

 子育ての色は
透き通るようなブルー！
無垢でとてもきれいな
赤ちゃんの目の色。

あ なたのお話を聞かせてください。
失敗してもいいと思うんです。子育ての方法は一つではありません。私だって、失敗ばかりでした。育児書どおりにはいきません。でも、みんな必死な思いで子どもと接するから悩んじゃう。だからこそ、お母さんたちに寄り添って、たくさんお話を聞くことを大切にしています。
ここには、いろいろなお母さんやお子さん遊びに来てくれますが、ここが実家みたいになるといいですね。そうすると私には何人孫がいるのかな？




地域の身近な場所でも、主任児童委員や有志のお母さんたちが、お母さんのための息抜き場を開いたり、遊び会などの活動を行っています。近所の子育て仲間を見つめましょう。

- いすみ子育て支援センター ☎37-9077
- マロニエ子育て支援センター ☎48-8698



ホッとできる場所 「子育てサークル」

子育てサークル「アップルパイ」代表
主任児童委員
島津 三喜子さん

 子育ての色は濃い赤から薄いピンクになるグラデーション。始めはつらくても、だんだん明るくなるから大丈夫！

「ここには、気の合う仲間がたくさんいますよ。私たちは、子育て支援」というよりも、親支援、を心掛けているんです。お母さんたちをサポートすることは、結局お子さんにつながっていくと思うんですよね。お母さんたちがホッとできる、息抜きの場となればと思います。お子さんとお母さんが気兼ねなくお話しができる雰囲気です。

なるべくお母さんたちに負担がかからないように、休める時間を作つてあげたいです。ここにいるときだけでも、子どものこと、家のことなどを忘れられるような、そんな場になればと思います。



身近な場所にある市内各地域の保育所で、子育て相談や保育園の行事体験、園庭開放など、各保育所の特徴を生かした事業を行っています。

- お近くの地域育児センターへ
- ★小田原愛児園・乳児園 ☎22-3030
- ★山王保育園 ☎34-0380
- ★春光保育園 ☎48-5162
- ★国府津保育園 ☎47-3355
- ★韮徳保育園 ☎36-0440
- ★西大友保育園 ☎36-4378
- ★たんぼぼ保育園 ☎35-6505
- ★桃重保育園 ☎48-6770
- ★桜井保育園 ☎37-3914
- ★豊川保育園 ☎36-6539
- ★早川保育園 ☎22-2833



ずっとここにあってほしい 「地域育児センター」

韮徳保育園地域育児センター「さくらんぼ」
スタッフ
岡部 悦代さん

 子育ての色は紅色！いろいろな色があって素敵でしょ。

「ここは、お散歩のときに付けてくれた人もいる地域密着型で、口コミで広がったところなんです。自分の経験から、子育てで大変なこの時期こそお母さんにとってもお子さんにとっても一番大切で、楽しい時期だと思えます。ですから、そんな貴重な時間に一人でも悩まないでください。」

主役はお母さんたち。私たちは黒子になって、お母さんたちの心のオアシスを演出するだけなんです。お母さんが楽しく、いい気持ちでいることが何より一番の子育てです！さくらんぼの実のように、親と子、そしてみんなが寄り添って成長を見守れたらいいですね。



インタビュー

地域育児センター「さくらんぼ」に参加している
嵯峨さんご家族

このことは、散歩をしているときに近所の方が教えてくれたんです。来てよかったと思ってますよ。子どもたちはもちろん楽しそうだし、ママたちにとってはストレス発散の場になっていますからね。



今回は、子育ての相談やお手伝いをしてくれるサポーターの皆さんを訪ねてみました。自分たちも子育ての経験者であり、それも踏まえてさまざまな話をしてくれました。

そしてそれぞれに「色」があることを感じていただけたのではないかと思っています。

でも、その中で、皆さんが同じように言っていたことが二つあります。

一つは、子育てでサポーターをしていての理由。それは「楽しいから」。自分たちの子育てで一段落して、みんなと一緒にまた子育てを楽しみたいから、お手伝いをしているのです。子育ては決してつらいことではなく、楽しいことだと、人は口をそろえて言っていました。

そして二つ目。一番の心配事も共通していました。それは、今回紹介したような施設やサークルなどに参加して来ないお母さんたちのことです。相談にのってほしい、だれかに話を聞いてもらいたい、そんなお

母さんたちはたくさんいます。子どもが親に抱かれて安心するように、お母さんやお父さんだって、だれかに思いっきり頼りたくなるでしょう。自分だって、抱っこされたいと思っ

て良いのです。遠慮することや心配することは何もないと、話していました。



最後に、涙を流しながら話してくれたサポーターの言葉を紹介しましょう。

「体の弱いお母さんが、子どものことを考えると、家族もお医者さんも、産むことに大反対だったのです。だって、お母さんの命にかかわることですから。でも、お母さんは、子ども

が欲しかった。『産む』と言ってきかなかった。そのとき、私の先輩は『そんなにほしいのなら、産めるように考えましょう』って言ったのです。私は驚きました。『そんな無責任な！この人が死んでしまったらどうするの！』って。でも、そのお母さんは、先輩のその一言で決めたんです。あきらめよう、子どもは産まないって。きつと、だれかに味方になってほしかったんです。このとき、人に頼る、頼られるということの大切さを

あらためて感じました」

.....

いかがでしたか。今回のサポーターたちが子育てに対して思っている色がそれぞれ違っていたように、あなたが持っている色、子どもが持っている色、サポーターの色は、一色ではないのです。子育てはこの色でなくてはいけないという決まりもありません。人と人が出会い、ふれあうことで、自分の色が変わり、子どもも色が変わっているのです。

あなたが迷った時、投げ出したくなった時、少しだけ勇気を出して子育てでサポーターというクレヨンの箱をのぞいてみてください。そうすればきっと見えてきます。

あなたが決してひとりではない、そして、人に頼れるという幸せを持っていることを。

NEWS

マロニエの児童プラザ「ラッコ」がリニューアル

8月1日

から

マロニエに子育て支援センターができたのと同時に、子ども達に人気の児童プラザ「ラッコ」もリニューアルしました。

冒険心がくすぐられる「木のとりで」と「クライミングウォール」で、木の香りが気持ちいい「木のボールプール」が完成。みんなを待ってるよ!



開設日 毎週火～日曜日、祝日(祝日の翌日、年末年始を除く)

開設時間 10:00～17:00(4～9月は18:00まで)

※長期休暇時を除く、火～金曜日の小学生だけの利用は15:00からです。

「私」は市長と市民の皆さんに約束します — 一部局長と『市長との約束』 —

● 行政経営室 33 1304



■市ではこれまで、行政改革の一環として、各部署が自立的に予算編成を行えるように財源を部署ごとに枠配分したり、部署内の職員配置を部局長に委ねたりするなど、部局長への「権限の委譲」を拡大し、「市役所内部の分権

改革」を進めてきました。

■「市長との約束」は、このような部局長への「権限の委譲」にともなう措置として、各部署が実施する事業の内容や目標について、その責任者である部局長と市長との間で取り決めを行うもので、今年度から制度化しました。

■さらに、部局長が、部署内の取り組むべき課題や心構えなどを、年度当初に所属の全職員に直接伝える「所信表明」も慣行化することにしました。

■「市長との約束」の内容は、市長と部局長が面談し、決定します。それぞれの事業の目標を数値化し明確にして、両者の合意事項とし、部局長をはじめとする全職員の目標達成への意欲を高め、事業の成果はもちろん、スピーディーな実施することがこの制度の目的です。

■「市長との約束」は次の事業計画で構成されています。

【重点事業計画】

各部署の課題や市長からの指示事項を踏まえ、各部署が特に重点的に取り組む事業です。

【市民満足度向上行動計画】

14ページで紹介する「第4回市民満足度・重要度調査」で、市民の皆さま

「(学校教育版)市民満足度・重要度調査」の実施

学校教育部長 鈴木 紀雄

【事業内容】 学校教育について、小・中学生の保護者と一般市民、計3,000人に満足度と重要度を調査し、今後の教育委員会の施策や各学校の教育の推進、見直しに反映します。

【目標】

○調査結果を市民へ周知、教育施策へ反映

ごみ減量強化事業

環境部長 古澤 英雄

【事業内容】 燃せるごみの量を減らすため、「削減効果の大きい紙類の分別方法」や「収集回数等に対する理解と協力」について自治会を通じた説明会を開きます。また、ホームページなど、さまざまな媒体で積極的に広報します。

【目標】

○自治会連合会への説明会開催回数(25回)、説明会参加者数(500人)
○燃せるごみの削減率(12年度比) 6.0% (前年度は4.6%)

んから寄せられた市の取り組みへの「不満」を着実に解消していくための事業です。

【ゼロ予算事業】

職員の人件費以外の予算を使わずに、職員自身の知恵と汗で実施する事業です。

■部局長は、責任をもって事業の実施

と目標の達成に取り組む、年度末には各部署長の説明責任として、「市長との約束」の成果を検証し、市民の皆さんにお知らせします。

■今年度の「市長との約束」は、全部で130の事業が含まれていますが、今月号と9月1日号で、重点事業計画の一部を紹介いたします。

下水道接続率向上事業

下水道部長 府川 善行

【事業内容】 下水道に接続できる区域で浄化槽などを使っているかたが、平成18・19年度に接続改造工事をした場合、下水道使用料を2年間免除します。
また、接続改造工事費の助成も拡大します。さらに、未接続世帯の全戸を訪問し、接続を働きかけます。

【目標】

○水洗化率89.4%（前年度比1%アップ）

一般会計繰入金確保事業

公営事業部長 牧内 勝利

【事業内容】 大きな収益が見込まれる記念競輪で売上額100億円を達成し、一般会計への繰入金を持続的に確保します。
また、老朽施設の改修や遊休施設の有効利用を行い、窓口業務の一部機械化を図ります。

【目標】

○記念競輪の売上額100億円を達成（前年度は86億5,700万円）
○一般会計繰入金を3億5千万円以上確保（前年度は3億円）

委託発注改革事業

市立病院経営管理局長 坂本 恵三

【事業内容】 人件費的要素の強い委託業務は、内容の簡略化や統合で仕様を見直し、契約期間の複数年度化や一括発注化、単独見積りによる契約から入札への移行など、委託発注の改革を行います。

【目標】

○平成19年度当初までに、複数年度契約は40件以上、単独見積りから入札執行へ10件以上

安全・安心のまちづくり（児童・生徒の登下校時の安全確保）事業

市民部長 一寸木 吉久

【事業内容】 「地域みまわり運動」への支援や助言、「安心の灯点灯運動」の普及と防犯活動を通じて地域コミュニティの再生に努め、特に、児童・生徒や高齢者の安全に重点を置いた防犯活動を計画します。

【目標】

○「地域みまわり運動」活動自治会数25連自治会（前年度は13連自治会）

救急車の利用の適正化推進事業

消防長 府川 利明

【事業内容】 救急車利用の実態を広報紙に掲載するとともに、救命講習、救護法訓練などを通じ、市民の自主救護能力の向上を図り、軽症者などがタクシー代わりに救急車を利用しないようにします。

【目標】

○各種行事開催時に、救急車の適正な利用を促すリーフレットを配布し、広報啓発を図る。
○救急件数の減少

子育て支援センターを拠点とした相談・情報提供体制の充実

福祉健康部長 加部 裕彦

【事業内容】 川東タウンセンターマロニエに子育て支援センターを開設します。
また、子育て情報の収集と各相談機関との連携を進め、いずみ子育て支援センターと併せて、相談・情報提供体制を整備します。

【目標】

○子育て支援センター（子育てひろば）延べ利用者数 25,000人（前年度は19,616人）

新・人事評価制度導入事業

企画部長 白木 章

【事業内容】 研修などで評価者の人事評価能力を向上させるとともに、育成面接などを行い、上司・部下双方が納得をし、かつ、公平性が高い、人材育成や能力開発につながる新しい評価制度の定着を図ります。

【目標】

○評価者研修会（10回）と育成面接研修（2回）開催、育成面接（フィードバック面接）の実施率100%
○「自分の能力が発揮できている」「仕事にやりがいがある」職員の割合（それぞれ70%、80%・職員意識調査により検証）

小田原駅周辺広告景観改善事業

都市部長 藤川 眞行

【事業内容】 小田原駅周辺や小田原城周辺地区を対象に、色彩の基準も位置づける屋外広告物条例を新たに制定し、景観上適切でない看板の改善を行い、城下町を実感できる街の空間の形成を図ります。

【目標】

○設置基準などの周知（説明会など3回、広告業者60社）、広告主個別訪問 20社
○小田原駅東口駅前広場とその周辺における広告物の改善数10基

いつまでも

生き生きと

暮らすために



介護予防を始めましょう

介護保険制度は今年4月から、高齢者がいつまでも自立した生活を続けられるよう、介護予防を重視した仕組みに変わりました。「要支援または要介護」の認定を受けていなくても、介護が必要となる状態を未然に防ぐためのサービスを利用できます。問・申込 高齢介護課 ☎33 1826

介護予防で生活の質を高めよう

今は心身ともに元気で大きな支障はないと思っても、だんだん衰えていく体力に不安を感じたかや、生活習慣などに問題のあるかたは少なくありません。一人ひとりが早めの介護予防に取り組み必要があります。

介護予防とは、「介護を要する状態になることをできる限り防ぐこと、また介護を要する状態にあってもその悪化をできる限り防ぐこと」です。実際の取り組みとしては、高齢者の状態に応じて運動を続けたり栄養状態に配慮したりするものですが、個々の心身機

能の改善により生活の自立を図るだけでなく、一人ひとりの生きがいづくりや自己実現を応援して、高齢者の生活の質を高めるのがねらいです。

要介護状態を水際で防ぐ

介護予防については国は「水際作戦」と位置づけて、介護保険制度の事業としての普及をめざしています。

医療機関での健康診断のほか、要介護認定で「非該当」となったかたや、ご本人やご家族から相談のあったかたのうち虚弱高齢者(要介護状態になる可能性のある高齢者)を見つけて、状態の悪化を水際で防ぐとします。

予防は早めのチェックから

そこで市では、近い将来に介護が必要なお状態にならないかどうかをチェックしていただくため、今年度65歳以上になるかたには、6月までに基本健康診査のががき(黄色)と合わせて「基本チェックリスト(複写式のA3判用紙)」をお送りしました。

診査を受けるかたは、リストに記入して「健康カレンダー」に記載の取扱医療機関にお持ちください。診査とチェックの結果、介護予防が必要と認められる

かたには、市が委託する地域包括支援センターから介護予防サービスのご案内などをさせていただきます。ご希望を伺いながら介護予防の計画を立てていきます。



市長随想

酒の効用

文 小澤良明

☆酒の飲み方も人によって大分違う。ポツランと一人居酒屋のカウンターで飲んでいる人がいる。酒が真から好きなのだろう。私には一人酒はたえられないし、できない。一人で飲みたいたいと思うようなことも殆んどない。ただ会席等のときに酒が無いのも困らなければテンションもあがらない。座も盛り上らない。私はその程度の酒呑みで、酒の力を借りる派なのである。大勢の仲間達とワイワイがや〜賑やかにやる方が根っから好き。私には、酒はどちらかというところ、酒の潤滑油と脇役である。☆市の職員達にも、折りにふれ、酒の効用の話しをする。「市長、ストレスの解消法は?」こんな問いに「率直に言ってそんなものはないよ。そっけない答え。酒をいくら飲んでも、ひたすら山を歩いても、心に負担となっていく懸案がなくなる訳ではないからである。「ストレスと上手に共生する」とかな。仲良くするということだよ。せいぜいそんな答えしかできない。☆そこから私の酒に関する独断と偏見の持論が始まる。「仕事に話したり、ストレスがたまったりしたら、職場仲間と酒を飲

一般高齢者施策事業に 参加しましょう

■筋力向上トレーニング事業

日常生活に必要な筋力を維持するため、健康運動を行います。

日時 毎週火曜～金曜日の
正午から13:00まで

場所 いそしぎ 体育室

内容 火曜日:ヨーガ
水曜日:バラエティ・ウォーキング
木曜日:らくらくエアロ
金曜日:体幹主動トレーニング
(水・木曜日はシューズが必要)

定員 50人程度

費用 無料

申込 各回の開始10分前から受付

■高齢者栄養教室

「おいしい/ たのしく/ 栄養改善」
介護予防のための食生活講習会

調理実習を中心とした楽しい教室です。
希望者には食事の悩みなどの相談にも応じます。

●1日目 8月29日(火)10:00～12:00
●2日目 9月21日(木)10:00～12:00

場所 保健センター

定員 20人・先着順

費用 1,000円(材料費)

講師 管理栄養士

申込 8月7日(月)から

急募! 要介護認定の 訪問調査員

資格:介護支援専門員、保健師、看護師または社会福祉士
詳しくはお問い合わせください。

地域包括支援センター

名称	担当地区	場所	電話
第一地区	片城 浦南 中山 山城 白	中学校区 早川853 (早川高齢者ふれあいセンター内)	24-5601
第二地区	白白	中学校区 久野137	66-3066
第三地区	泉北 城	中学校区 清水新田271	66-4190
第四地区	酒国 府津 橋	中学校区 小八幡3-6-22 (介護老人保健施設わかば内)	45-3222
第五地区	鴨子 宮代	中学校区 曾我光海2-1 (ルビエセンター内)	41-1275

*担当地区は中学校区を基本としていますが、一部異なる場合があります。

介護予防事業は2種類

●一般高齢者施策

65歳以上の元気なあなたが、生活機能の維持・向上を図るために参加できます。講習会や体験教室などを通じて、介護予防の重要性を理解し、自主的な取り組みのきっかけにしたい、たくさんの方の広報などで随時お知らせします。

【事業例】

- 介護予防講演会:秋に開催予定です。
- いきいき健康事業:各地区社会福祉協議会ごとを実施しています。
- 高齢者体操教室:いそしぎで毎週月曜日午後に行われます。
- ふれあい担い手発掘事業:地域で介護予防を担う団体の活動に必要な備品などの購入費の一部を助成しています。
- 筋力向上トレーニング事業(画み記事参照)
- 高齢者栄養教室(画み記事参照)

●特定高齢者施策

65歳以上で介護が必要となる可能性のあるかたには、教室などでの個別指導や相談、保健師などの訪問相談などをお勧めします。
なお、サービスを利用するには、医師の判定と地域包括支援センターでの介護予防マネジメントを受けることが必要です。

【事業例】

- 筋力向上トレーニング事業 ○閉じこもり・認知症・うつ予防教室 ○栄養改善教室 ○口腔ケア教室 など

地域包括支援センターが お手伝いします

保健師(または看護師)、社会福祉士、主任ケアマネージャーが、チーム体制で介護予防をお手伝いします。また、高齢者の幅広い相談に応じます。(下表参照)

むのが良いよ。アフターファイブだからと言って仕事のことは一切忘れなうって大丈夫だよ。酒の肴に仕事の話題。結構。上司への不満、結構。(ただし市長の悪口はホドク)など、仕事に生命を賭けていれば、仕事の話しが一番盛り上がる、一番楽しい筈だよ。な!。半分嫌味みただが私はそう言う。うさばらだけじゃなくてことによると行き詰まっていた課題にヒントや新しい発想も湧いてくるかもしれない。



☆飲みながら相手のことを根ほり葉ほり聞きたがる人がいる。そんな人に限って自分の事はちつともしゃべらな。一人間誰しも多かれ少なかれ弱みや悩みを持っていて。こちらの真情を率直に吐露することがなければ、相手も心を聞いてくれないよ。口々に酒も呑めない私が先ずぶつて俵そうに勝手なことを言えるのも部下達だからである。☆そうは言いながらも余り効用や利害を考えながら酒を呑むものでもないだろう。仲間達と冷えたビールのジョッキをガツンとぶつけ合いながら何が何だか判らなくなるまで飲むのも亦楽しからずや。である。

就職情報提供事業がスタート

「おだわらネット」に推進本部事業として

●産業政策課 ☎331514

雇用の促進と就労を支援するため、市内を中心とした事業者の求人情報などを、無料で提供するホームページ、「市就職情報提供システム」を8月1日に開設しました。

主な内容は、市内や市近隣事業者の求人情報に加え、就職支援事業などの情報も案内します。最新情報はトップ画面に表示します。事業者名や地域などでも情報検索ができます。

また、サイトはパソコンだけではなく、携帯電話からも見ることが出来ます。

パソコン用 <http://www.odawara-work.com>
携帯電話用 <http://www.odawara-work.com/m>

なお、事業者の皆さんは就職情報提供システムから求人情報を登録できます。初期登録が必要ですが、IDとパスワードを取得すれば、その後はいつでも、求人情報を登録・変更・削除することができます。

詳しくは、ホームページをご覧ください。



おだわらインフォメーション

Odawara Information

市民活動応援補助金の交付事業が決定

市民活動応援補助金は、市民の皆さんが自発的に行う市民活動を財政的に支援を行うことで、その活動の活性化と団体の自立を図り、市民主体のまちづくりを進めるために設けています。

今年度は、新たに行う事業に上限10万円を補助する「スタートアップコース」へ11件、活動を発展させるための次の一歩として新たにを行う事業に、30万円を上限に事業費の2分の1を補助する「ステップ

●地域政策課 ☎331708

アップコース」へ18件、合計29件の申し込みがありました。

選考は、学識経験者や公募市民などで構成する市民活動推進委員会が、書類と公開プレゼンテーションを行い、16事業に補助金を交付することが決定しました。

このような市民の皆さんの活動が、住みやすい豊かな社会の実現につながっていくことを期待しています。

<スタートアップコース>

No.	事業名・団体名
1	環境美化推進事業・蓮正寺第3自治会
2	外国人旅行者から感謝される小田原市の確立・小田原箱根SGGクラブ
3	2006Bit Guide 国際津ツアー事業・Bit Guide(ビットガイド)実行委員会
4	参加型シミュレーション防災訓練・西湘災害ボランティアネットワーク
5	たんぼの学校・特定非営利活動法人小田原かんこ村農場
6	視覚障がい者用デジタル・ポータブルレコーダーの導入・小田原録音音幸仕会
7	小船祭囃子保存・小船祭囃子保存会
8	「しもそが大好き」大作戦・地域コミュニティー研究会がらむ

<ステップアップコース>

No.	事業名
1	甲冑仕舞(創作仕舞)の上演・小田原城馬道楽
2	市民自給の会・特定非営利活動法人あしから農の会
3	森づくり事業・森のなかま
4	地球温暖化防止活動・温暖化防止アクショングループ
5	「木くすくキッズワークショップ」開催および普及広報事業・特定非営利活動法人おだわら木の文化研究センター
6	盲人マラソン伴走者育成研修会・特定非営利活動法人日本盲人マラソン協会
7	身体障害者及び高齢者に対するパソコン操作の支援事業・特定非営利活動法人パソコンボランティア
8	子ども伝承普及事業「九頭龍クラブ」・特定非営利活動法人子どもと生活文化協会

防災ひとくちメモ
り災証明

●防災対策課 ☎331855

8月から10月は、日本列島は台風などによる大雨や暴風の被害を受けやすい時期です。

もし、浸水や屋根の破損などで家屋に被害を受けた場合には、保険金で修理を考えることもあるでしょう。その時に必要になるのが「り災証明」です。

これは、市役所などの公的機関が被災した家屋などを調査し、間違いなく被害を受けたことの証明をするものです。

り災証明の申請には？

- 被害を受けた場合、被害箇所を修理する前に、電話、直接来所、電子申請などの方法で、防災対策課へご連絡ください。
 - 申請書をお渡しします。被災状況を詳しくお書きください。
 - 市職員が現地へ赴き、写真撮影など被災状況を確認します。
 - 確認後、り災証明を発行します。
- ※被害状況の確認をする前に修理を行ってしまうと、被害状況の確認ができませんので、必ず修理前にご連絡ください。

ほら、そこにも悪質商法!!

昨年度、西さがみ連邦共和国消費生活センターに寄せられた相談の統計がまとまりましたのでお知らせします。

●西さがみ連邦共和国消費生活センター
相談専用ダイヤル ☎331777



西さがみ連邦共和国
消費生活センター

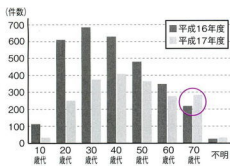
相談日 月曜日・金曜日(年末
年始・祝日、休日を除く)

相談時間 9時30分～12時、
13時～16時

高齢者からの相談が増加

センターが昨年度に受け付けた苦情相談の件数は2,028件。架空請求などの件数が減ったため、平成16年度の約6割に減りました。

しかし、世代別に見ると70歳以上のかたからの相談は16年度よりも増え、全世代に占める割合が前年度の2倍の14%でした。



住宅に関する相談も目立ちます

相談の内容別の順位は、架空請求を中心とした「オンライン等関連サービス」「商品一般」が相変わらず上位を占めますが、すべての世代で相談が寄せられている「工事・建築」「不動産賃貸」といった、住宅関連の相談も目立ちます。

「無料点検にきました」と言ってお客に上がり込んだり、「このままでは家が倒れるから危険」などと言って不安をあおり、住宅リフォーム工事の契約を強引に結ばせる悪質な事例が増加しました。

被害にあわないための6ヶ条

① 必要のないときはきっぱり断る

- ② 契約する前に家族や友人と相談を
 - ③ 契約書は内容をよく確かめて
 - ④ 署名やハンコは慎重に
 - ⑤ うまい話に気をつけて
 - ⑥ お金はすぐに支払わない
- 早めにセンターへ相談を

気をつけよう

住宅用火災警報器の設置の義務化に便乗した悪質商法にご用心。不当な価格で強引な訪問販売、あなたの家は大丈夫?!



瓦がズレてますね……

すぐに工事しないと少しの地震でもくずれて大変なことになるよ。

そうかい、じゃ修理してもらおうかね

お知らせ
広告を掲載した封筒を使いはいはじめています

行政経営室 ☎331305

市では、新たな財源の確保や経費節減に取り組んでいます。

その一環として、印鑑登録証明書や住民票などを取りにきた市民の皆さんなどが利用したり、市民の皆さんへの郵送に使用したりするための封筒を神奈川県国民年金基金にお願ひし、寄贈していただきました。封筒には、プロゴルフの宮里藍さんが写っています。この封筒の寄贈により、市が購入する封筒の約40万円、節減することができました。これからも、新たな財源確保や経費節減に努めていきます。





たまには みんな でケイリン!

小田原競輪は年間約26万人のかたが訪れる小田原市有数の娯楽施設です。レースだけでなく、さまざまな形で市民の暮らしに深く関わっています。最近では、ファン層拡大のため、家族でも楽しめるような工夫をこらしています。

◎事業課 ☎23-1101



EVENT CHAIN

イベント告知

8月10日～13日(日)
開設57周年記念(GⅢ)

北条早雲杯争奪戦

小田原競輪の開設を記念して毎年8月に開催される小田原競輪最大のレース。全国トップレベルの選手達が優勝を争います。女性によるレースやお子さん向けのオリジナル企画もあります!



いろいろと
役に立っています!

市の財政を支える

競輪の収益金は市の会計に繰り入れられます。平成17年度にも3億円が繰り入れられました。今までに合計86.2億円が繰り入れられ、市の施策を財政面から支えています。

関連団体による補助事業

競輪の収益から交付金を支払っている関連団体を通じて、施設整備の費用などを補助しています。市内施設では、スポーツ会館や、橋地区に建設予定の地域センターなどが対象になっています。



こんなことも
やっています!

小学生向け自転車教室

毎年10月ごろ、自転車にまったく乗れない小学生のために、自転車教室を開催しています。



駐車場の活用

競輪のない日には、お客様用駐車場の一部を、観光客用の臨時駐車場や付近の子どもの遊び場として無料開放しています。

競輪のない日には、お客様用

数字で見る小田原競輪

売上	■レースあたりの最高額	789,393,200円(H15.8.15第11R)
	■1日あたりの最高額	2,600,434,900円(H15.8.15)
払戻 (100円券購入に対する払戻額)	■2車単(1、2着を当てる)	262,430円(H14.9.17第3R)
	■1日あたりの最高額	55,987票中約16票
	■3連単(1、2、3着を当てる)	1,515,670円(H16.10.23第10R)
		101,045票中約5票
最多入場者数 34,105人(S47.1.3)		

競輪開催中のお楽しみは
レースだけじゃない!

■キッズコーナー

「競輪場には児童遊園はあるけど、雨の日に子供が遊べるところがなくて...」とか、「授乳やおむつ換えをしたいんだけど...」という要望にお応えして、藤だん休憩所の隣にキッズコーナーをつくりました!子供たちが自由に遊べる空間に授乳室とおむつ換えのできるトイレを設けました。



■イベントステージ

レース開始前などにレース検討会や足しまん大会などのイベントを行っていますが、このたびは待望のイベントステージができました。今後ますますイベントを充実させていきます!

■初心者ガイダンスコーナー

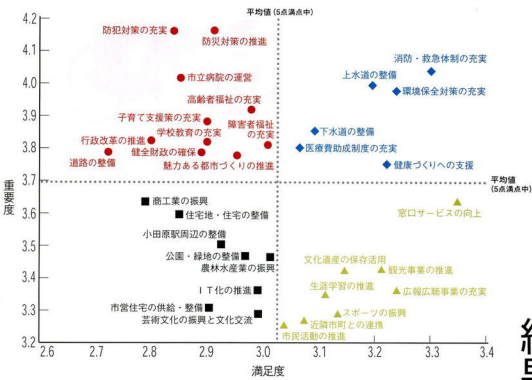
好評の初心者ガイダンスコーナーがリニューアル!ニューアルト「競輪ってどうやるの?」という初心者の



かたにも係員が親切にご案内します。インターネットコーナーも新設されました。

第4回市民満足度・重要度調査の結果がまとまりました

●行政経営室 ☎331304



今回も60%を超える回収率

限られた財源や施設、人員の中、市が今後どのような分野に重点的に取り組むべきかを定める参考とするため、日ごろ市民の皆さんが、行政の取り組みに満足しているか、今後の取り組みがどのくらい重要と考えているかをお尋ねするものです。市内在住の18歳以上のかた3,000人を対象に、今年1月14年度から毎年行っており、今年1月に行った第4回調査では、62.1%にあたる1,862人のかたから回答をいただきました。市民の皆さんのご協力にご関心に感謝します。

「小田原駅周辺の整備」の満足度がアップ

「小田原駅周辺の整備」に対する満足度は、第3回(16年度)調査では低下しましたが、今回の調査では向上しています。「窓口サービス」への満足度は、全調査を通じて、毎回向上しています。一方、「上水道の整備」に対する満足度が、大幅に低下しました。昨年の水道送水管事故による影響と思われます。

「行政改革の推進」については重要度が高まり満足度が低下しています。新たに設けた「防犯対策の充実」は、防災対策と並び重要度が高まっています。

市では、この調査結果をもとに、次のような取り組みを進めています。

■昨年度予算から、「重要度」が高いにもかかわらず「満足度」が低い分野(グラフの●)で表示された分野のうち、市民の皆さんに直接選んでいただいた事業分野に予算を重点的に配分しています。来年度もこの仕組みによって、市民の皆さんの声を予算に反映する予定です。

■調査では、それぞれの設問に対して「不満の理由」を自由に記入してもらっています。これを踏まに解消し、満足度を向上させるための「市民満足度向上行動計画」を昨年度からスタートさせました。今年度は、この行動計画をさらに拡充して、6・7ページ「市長との約束」として位置付けています。今年度も、市民満足度・重要度調査を行いますので、ご協力をお願いします。

歴史街道

～小田原を愛した人々 26～

平成9年度から24回連載され好評だった「歴史街道」の続編として、5回にわたって明治期以降、小田原を舞台に活躍した著名人を中心に、近代史に登場する人物を紹介していきます。(第2回)

小田原を俳人の温床とした藤田湘子(良久)

郷土歴史家 三津木 國輝



▲長野県大町市の湘子句碑の前で。右は弟子の飯島晴子さん。

俳壇の大御所で俳句誌「鷹」の創刊者である藤田湘子の句碑が、氏の一周忌にあたる平成十八年四月十五日、西海子の藤田湘子の生誕地の近くに位置する小田原文学館の庭に建立された。当日は小田原市長小澤良明氏、助役加藤一男氏をはじめ、鷹俳句会の継承者小川軽舟氏、湘子未亡人、舎嬢かをりさんなど多数のかたがたが参加して除幕式が行われた。

湘子先生は小田原城下、町組(通称茶畑町)の出身であることから、旧知の方も多く碑の建立をそれぞれのかたたちが喜んでいふことと思う。

藤田湘子(本名 藤田良久)は大正十五年(一九二六)小田原町十字三丁目六二九番地(現小田原市本町四丁目五番五六号)に生まれ、小田原町立第一尋常高等小学校(現三の丸小学校)

秋桜子の特選に入ることは特別な栄誉とされることであり、湘子は「小田原へ帰ると私は賞品の短冊を持って知り合いの句友を訪ねてまわり、自慢を語り歩いた」と素直にその喜びを語っている。この時湘子は若干二十一歳であった。

昭和二十三年馬酔木賞現馬酔木新人賞を受賞し、翌年同人となった。

この頃湘子は水原秋桜子に弟子入りをして、師秋桜子から俳句の基本を学び、ついに俳句についての奥義をきわめた。

昭和三十年処女句



▲小田原の弟子達と。左から3人目が湘子。

に学んだ頃から俳句に興味を持ち、小学六年生の時、俳句の処女作、朝焼けのこずえに高き百舌鳥の声を、学校の文芸誌「桐葉」に発表した。

その後も俳句作りに専念し、昭和十八年「馬酔木」に初投稿し、俳壇にデビューした。この時湘子は紅顔の十七歳であった。

昭和二十二年、高尾山麓で行われた馬酔木復刊記念大会に参加し、風音のやめば来ていし落葉騒、を投句し、これが水原秋桜子の特選三句に選ばれ、賞品として秋桜子の短冊をもらった。この頃の俳人にとって

集を発刊し、その中に、愛されずして沖遠く泳ぐなり。の名句があるが、小田原御幸の浜海岸で育った湘子は「泳ぐことは少年期から青年期にかけての私の最大にして最高の愉しみであった」と自負している。

昭和二十九年三十八歳の時、鷹俳句会の機関誌「鷹」を創し代表同人となった。そして毎月のように俳句指導のため小田原に見えていたが、御幸の浜海岸で一泳ぎして来た日焼け顔で句会の席にあらわれることも度々あったといわれている。

湘子の句集は生前に十冊刊行されているが、その中で第六句集「個」、第七句集「五来の花」、第八句集「黒」の三部作は「一日十句」で詠まれた「一、一〇七句の中から選ばれたものである。「一日十句」は多作修練を目的として毎日十句を作るという難行で、昭和五十八年二月から満三年にわたって続けられたものである。

なお湘子一周忌の平成十八年四月十五日、「湘子週句集」が発刊された。句集名の「てんでん」は湘子が生前に命名したものであるが、自劇による遺稿はなかったため、鷹俳句会の継承者小川軽舟氏が、平成十一年から平成十七年春までの一千句を超える作品の中から六二二句を選んだものである。

なお、この稿の資料提供者である湘子の愛弟子佐宗欣二さんに紙上でお礼申し上げたい。

春夕好きら言葉を呼びあつめ。

湘子

(写真提供は杉崎せつ様)

今月の笑顔

元気あふれる人たちの笑顔は、
見ていて人たちにも、
力を与えてくれるもの。
このコーナーでは、
みんなが元気になるように、
素敵な笑顔ををお届けします。

青年海外協力隊は、高校時代にテレビで見えて以来、あこがれとしたいつも心の中にあっただろうです。看護大学へ進み、「お世話になった先生が発展途上国で活躍されたかただったのいろいろな話を聞いたり、協力隊のOBとお話をする機会があったりして、あこがれが徐々に現実の目標になってきました。市の保健師として働く日々も充実していたし、そこで出会う人々とのふれあいからもたくさん大切なものを得られていました。だから、この仕事とも離れたくなかった」と、学生時代からの目標と目の前のやりがいとははざままで随分と悩んだそうです。「年齢的なことを考えても、今しかないと思っ」て去年の6月に試験を受けました。その合格通知が彼女のものとへ届いたのは8月。家族も職場の仲間も応援してくれました。



保健センターから世界へ
出発します！



青年海外協力隊平成18年度第1次隊員

杉山みのりさん

3月まで市の保健師として働いていた知識と経験を生かし、アフリカのペナン共和国へ6月27日から2年間赴任しています。出発直前のあわただしい中、その心中を伺いました。

「見知らぬ国で、病院での治療ができない人々に自分がどう役に立っているのか。医療機械がなくても、聴診器一つ、血圧計一つで、できることはきつとたくさんあるはず。これは挑戦ですよね。自分もこのままではいけないと思っています。これを機会に経験をたくさん積みみたいと思います。そして、どういう形であれ、一生保健師でありたいです」

言葉や表情からあふれる並々ならぬ決意と使命感。この人は、小田原の誇りだと思いました。ご活躍をお祈りしましょう。

Close Up

注目の情報をお届け！



第2回タウンミーティング ～市民と市長とのほっと懇談会～

◎広報広聴室 ☎33-1263

市の目指す方向性や取り組みを市民の皆さんと話し合う「タウンミーティング」第2回のミーティングが決定しました。テーマ以外のことも自由に発言でき、どなたでも気軽に参加できます。市長と直接話せるこの機会をお見逃しなく！

日時 9月3日(日)
14時30分～ ミニコンサート
15時～17時 懇談会

場所 ロビンソン百貨店4階ギャラリートーマ「おだわらルネッサンスプロジェクト」

※ミーティング前のミニコンサートには、小田原出身のソプラノ歌手西由起子さんが出演します。また、8月31日(木)・9月5日(火)には、同会場まで西さがみ連邦共和国フィルムコミッション写真展]を行います。10時～18時。最終日は16時まで) ※託児(2歳以上就学前まで)や手話通訳・要約筆記が必要な方は、開催日の2週間前までにご連絡ください。

※第3回以降の予定は、決まり次第お知らせします。